

ほん・本・ブック (修練会)

公益財団法人豊島修練会 2016年11月24日号 (通算第14号)

子どものほん (子ども、小学生&中学生)

かんしゅう：さいとうたかし「こどもそんしのへいほう」日本図書センター 本体 1500円

この本は、もともと大人のために、中国の孫子(そんし)という人が書いたものです。それを、齋藤孝(さいとうたかし)さんが、子供向けに解説したものです。「自分のことを自慢すると、友達との関係がまずくなることもあるよ」とか、「ケンカしてもかなわない時、争っても意味のないときは、さっさと逃げてしまおう」など、けっこういいことが書いてあります。ちょっとむずかしい所もあるかもしれませんが、おうちに人と一緒に読んで話し合うといいかもしれません。

My Friends



大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)

監修・齋藤孝「こども孫子の兵法」日本図書センター 本体 1500円



子どもたちは、友人関係の中で、競争の中で、いつもギリギリのところでは生きています。特に、複雑化している社会の影響を受けて、あるいは好ましくない大人の言動を目にして、悩み、苦しみ、それでもけなげに生きているというのが、現在の子どもと言う存在です。

もともと「孫子の兵法」は、大人向け、激しい争い社会の中でしたたかに戦い抜き、生き抜いていくための考え方・方法・方策を、端的に表現したものだそうです。

でも、その中に、この厳しい難しい世の中を生きていく子供たちの役に立つこともあるということで、監修の齋藤孝さんが、子ども向けに翻訳したものです。「あ〜、これを子どもと話題にしたらいいかもしれない」と言うことがあるかもしれません。どこかで見かけたらばらばらとめくってみて下さい。大人の役に立つ部分は、きっと多くあるかもしれません。

学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

和田秀樹著「争わない「生き方」自分は自分人は人」新講社ワイド新書 本体 800円

現在は、競争社会と言う面が目立つ社会です。例を挙げてみましょう。「十分に理解しているとは言えなくても、学力調査は平均点で市内トップだった」、算数のテストが95点だったのに「友達のAさんは、100点だったのに、あなたは駄目ね…」、オリンピックで入賞できなかったが日本記録を更新したのに「メダルが取れなかった」と話題にもならなかった、等々である。本書は、そのあたりに焦点を当てて、「自分のペースで生きる人が、本当は強い人なのだ」と、むやみに人と争わない生き方を勧めている。著者は、「ほめ言葉の上手い人、下手な人」や「気持ちの整理のできる人でできない人」等、教師が子どもの指導に活用できる多数の本を出していることでよく知られている精神科医である。



「ほんとうのマイペースは、追い込みタイプより先行タイプ」など、11の「法則」と、それに伴う80以上の「技術」と「考え方」をまとめてある。自分の研修、子供の指導に役立つ内容満載である。

★備考★なお、話題提供のために本を紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。【成美教育文化会館】で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

